

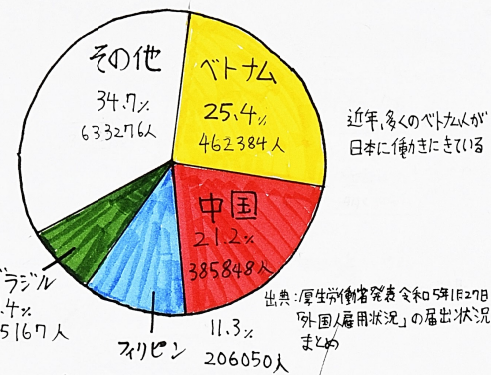
山梨県における 外国人労働者の推移

動機

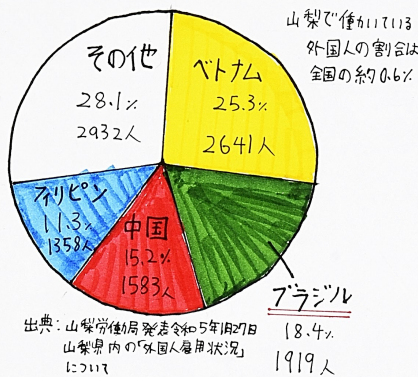
父の職場の外国人と関わる機会があり、山梨にはどのくらい外国人労働者がいて、どこの国から来ているのか言ってみました。

国籍別外国人労働者の割合

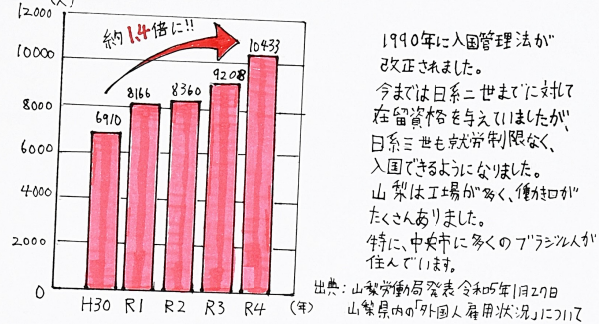
<令和4年全国(1822725人)>



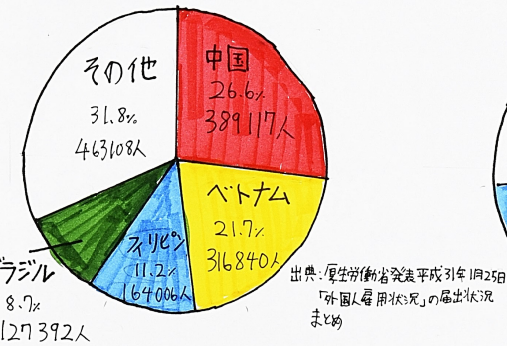
<令和4年山梨(10433人)>



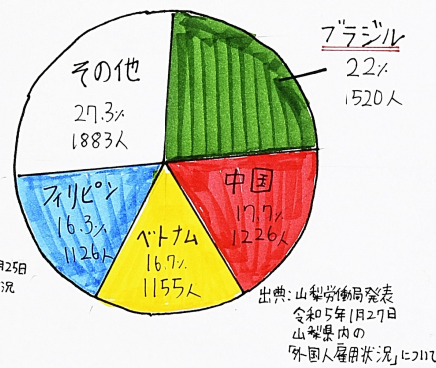
<山梨の外国人労働者数の推移>



<平成30年全国(1460463人)>



<平成30年山梨(6910人)>



<令和4年労働者が多い上位3都府県>

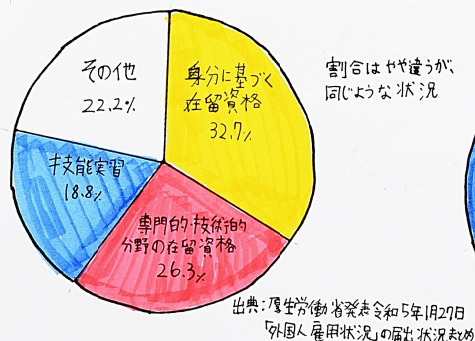
1. 東京 (500,089人)
2. 愛知 (188,691人)
3. 大阪 (124,570人)

<令和4年前年増加率が高い上位3県>

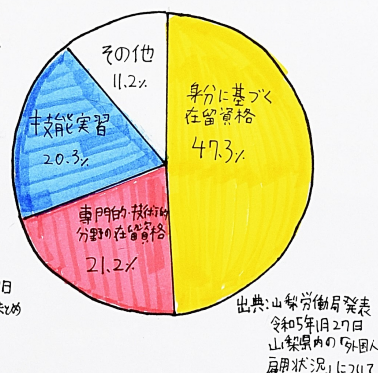
1. 長崎 (6,951人)
2. 大分 (8,383人)
3. 山梨 (10,433人)

在留資格別の状況

<令和4年全国>

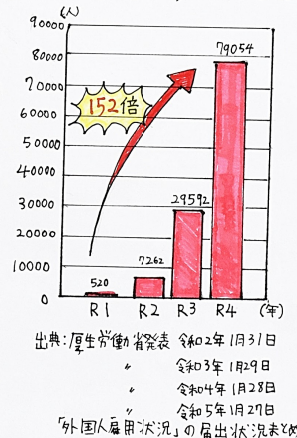


<令和4年山梨>



まとめ

<特定技能の人数の推移>



グラフでも見て分かるように山梨では外国人労働者数が5年前に比べて約1.4倍になっています。外国人労働者が多くなってきている原因としては、労働者不足、日本政府による支援やグローバル化が挙げられると思います。

最も深刻な問題は労働者不足であり、根本的な原因は日本における少子高齢化ではないでしょうか。今後、日本が「成り立っていくためには外国人労働者の必要です。日本がもう少し、少子高齢化対策に取り組んでいくことが必要だと思います。

外国人労働者についても、長時間労働や低賃金、貸金未払い、差別等の様々な問題が「あります」としては外国に「お生じていく道を探していき、どうにかできるか自分なりに考えていきたい」と改めて思いました。